



ポーランドの現代ポスター展

50年代黄金期から現在の最新ポスターまで

2019年6月24日(月) - 8月10日(土)

開館時間：10：00 - 17：00 (入館は16:30まで)

休館日：日曜・祝日

会場：京都工芸繊維大学美術工芸資料館2階第3・第4展示室

入館料：一般200円 / 大学生150円 / 高校生以下無料

- * 京都・大学ミュージアム連携所属大学の学生・院生は学生証の提示により無料
- * 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳を持参の方及び付添の方1名は無料(入館時、手帳を提示)
- * 8月9日、10日はオープンキャンパスを開催いたします。当日の入館は無料です。

主催 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

共催 Adam Mickiewicz Institute (ポーランド国立文化機関)

後援 ポーランド広報文化センター

企画 中川可奈子

協力 加須屋明子(京都市立芸術大学教授)

Polski plakat współczesny

Od złotego okresu lat 50-tych do dzisiaj

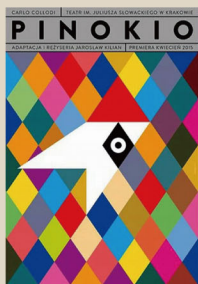
ポーランドの現代ポスター展 50年代黄金期から現在の最新ポスターまで

京都工芸繊維大学美術工芸資料館では、日本・ポーランド国交樹立100周年を記念して「ポーランド現代ポスター展 50年代黄金期から現在の最新ポスターまで」を開催します。この展覧会は、美術工芸資料館の国際交流の一環として開催するものです。

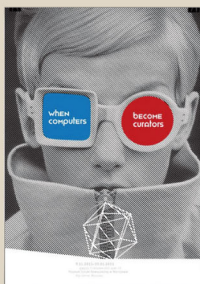
ポーランドで1950年代から60年代初頭にかけて制作されたポスターは、海外からも高く評価され「ポーランド派」と呼ばれて親しまれています。そして、現代でも、ポーランドで新たに活躍しているデザイナーたちが、独自の新しい表現をポスターに展開しています。

この展覧会では、美術工芸資料館が所蔵する60年代～90年代のポーランドのポスター界を代表するヘンリック・トマシェフスキ、ユゼフ・ムロシュチャク、ロマン・チェシレヴィチ、ヤン・レニツァ、フランチシェク・スタロヴィエイスキらの作品と合わせて、現代ポーランドの30代から40代を中心とする、若手中堅作家たちによるポスター約30点を展示します。展覧会を通じて、現代のポスターに見られる新しさとともに、脈々と続くポーランド派の伝統を感じとっていただければと思います。そのため、作家と作品選定にあたっては、斬新さ、みずみずしさ、ポーランド的な要素を重要視しました。

今回の展覧会をきっかけとしてポーランド派のポスターの魅力がより一層理解されとともに、現代ポーランドのポスターの素晴らしさや可能性にも気づいていただければと考えています。この展覧会が、日本とポーランドの相互交流のさらなる発展につながる機会になれば幸いです。



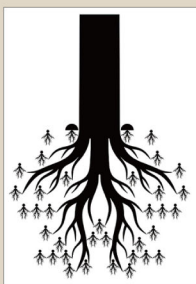
1



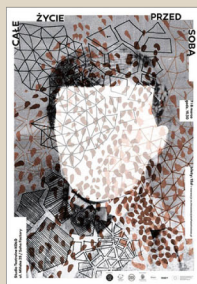
2



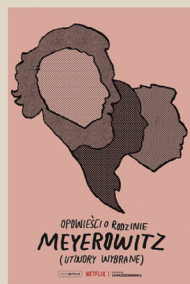
3



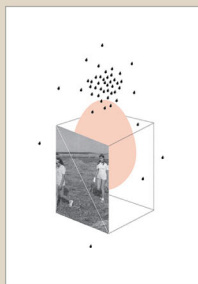
4



5



6



7



8



9



10



11

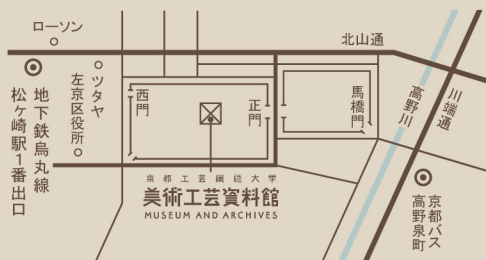


12

1. Jan Bajtklik 《ピノキオ》2015年 / 2. Fontarte 《コンピュータが学芸員になった時》2009年 / 3. Krzysztof Iwański 《PIL's (AKA Public Image Limited) – track Religion II》2015年 / 4. Małgorzata Gurowska 《MYCO システム》2019年 / 5. Made in Cosmos 《人生はこれから》2014年 / 6. Tymek Jezierski 《マイヤーウイツ家の人々(改訂版)》2017年 / 7. Ania Światłowska 《物事の秩序シリーズより「12」》2013年 / 8. Patryk Mogilnicki 《昔々あるところに…》2016年 / 9. Kasia Walentynowicz 《美術館でのおとぎ話》2015年 / 10. Magda Pilaczyńska 《夜の終わりに》2015年 / 11. Julia Mirny 《ヤン・コハノフスキの日》2017年 / 12. Ola Niepsuj 《フランスパンをください》2010年

交通案内

- 京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎」駅下車徒歩8分
1番出口から右(東)へ約400m、4つ目の信号を右(南)へ約180m
- 京都バス「高野泉町」下車、徒歩8分



アダム・ミツキエヴィチ・インスティテュートはポーランドの文化と遺産を国際的に紹介することを使命とする国立機関です。また毎日更新のウェブサイト Culture.pl を通じて、選りすぐりのアート・イベント情報を提供しています。インスティテュートはこれまでに世界中で8千以上のイベントを開催し、約6千万人の観客を動員しました。

同時開催

「近代デザインの誕生—京都工芸繊維大学 美術工芸資料館 名品展〈後期〉」

お問合せ

京都工芸繊維大学美術工芸資料館
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
TEL 075-724-7924 <http://www.museum.kit.ac.jp/>

Contact : Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology
Hasigami-cho, Matsugasaki, Sakyo-ku, Kyoto, 6068585, Japan